

袖ヶ浦市音楽協会第115回定期演奏会（個人会員部門）

ガウラコンサート vol. 16

～音楽と共に～



2025年8月31日（日）14:00開演（13:30開場）

袖ヶ浦市民会館中ホール

後援：袖ヶ浦市教育委員会 木更津市教育委員会 君津市教育委員会

ごあいさつ

袖ヶ浦市音楽協会の個人会員部門として発足したガウラコンサート。今回、第16回目のコンサートを迎えます。これも皆様方のご支援あつてのことと感謝しております。

今回の特別企画は、～エンジョイミュージカル～と題し、出演者全員で、“ミュージカル作品”の中から、その挿入歌としておなじみの曲を演奏いたします。子供さんから大人までお楽しみいただけるプログラムとなっておりますので、ぜひ口ずさみながら、最後までごゆっくりとお楽しみください。

袖ヶ浦市音楽協会個人会員一同

<第Ⅰ部>

1. 箏四重奏曲 作曲 船川 利夫

尺八 芦垣 皋盟 第一箏 井上 久子 第二箏 山村 雅子 十七絃 菊池 紀子

この曲は、箏二、十七絃、尺八の四重奏曲です。箏、尺八、ヴィオラ、チェロで演奏されることもあり、作曲家としては必ずしも楽器構成にこだわっていません。船川作品の中でも評価の高い作品です。

I 楽章 MODERATO 淡泊にあっさり

おらかな旋律と、細かい音階の組み合わせから出来た旋律とで、主題が出来ています。この楽章は、動くことを主体に、各パートの律的移行と対比をねらっています。

II 楽章 LENTO 淋しく

静けさを主体に、相当に息の長い愁いに満ちた旋律をうたい、それをいやすような歯切れの良い旋律が中間部に現れ、またもとの旋律に帰ってこの楽章を終わります。

III 楽章 ALLEGRO 軽快に明るく

明るく軽快に、そしておどけさえも混えた速い楽章です。尺八には軽音楽的なところもあります。

2. (1) 献呈 作曲：シューマン

(2) 歌劇「魔笛」より『愛の喜びは露と消え』 作曲：モーツァルト

ソプラノ 白熊 優奈 ピアノ伴奏 石橋 里奈

(3) 歌劇「フィガロの結婚」より『ケンカの二重唱』 作曲：モーツァルト

ソプラノ 白熊 優奈・小野寺汐莉 ピアノ伴奏 石橋 里奈

(1)「献呈」は、シューマンが妻のクララへ結婚前夜に贈った愛する人への深い愛情を表現しています。シューマンの愛情だけでなく、感謝の思いも伝わる曲です。

(2)モーツァルト最後のオペラ「魔笛」。第2幕で王子タミーノは、愛するパミーナのために、祭司ザラストロの神殿で“沈黙の試練”を受けます。そこにパミーナがあらわれますが、タミーノは試練のために話すことができません。愛を失ったと思うパミーナは嘆き悲しみ、このアリアを歌います。

(3)モーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」から、楽しい二重唱をお届けします。お城の中での様々な恋模様を面白おかしく表現したモーツァルト。「ケンカの二重唱」は、このオペラのヒロイン：スザンナ（白熊）と彼女より年上のマルチェリーナ（小野寺）が、ニコニコしながらも“小娘”や“ばあさん”と罵り合う曲です。なぜケンカをしているかということ、同じ人を好きになってしまったのが原因ですね。

3. (1)『君をのせて』 アニメ映画「天空の城ラピュタ」挿入歌

作詞：宮崎 駿 作曲：久石 譲

(2)『時には昔の話を』 アニメ映画「紅の豚」挿入歌

作詞・作曲：加藤登紀子

テナー 大河原敏雄 ピアノ伴奏 西垣亜由子

(1)1986年公開スタジオジブリ製作のアニメ映画「天空の城ラピュタ」のエンディングテーマとして作られました。歌詞は少年パズーの視点から描写されており、ラピュタを求めて志半ばで倒れた父の「熱い想い」と、優しい母のまなざしを胸に、パズーはシータと出会い、ラピュタへと冒険の旅を進めていきます。

(2)「紅の豚」の舞台は第一次世界大戦後の1920年代末、世界恐慌真っ只中のイタリアです。

呪いによって豚の姿になった飛行艇乗りポルコ・ロッソの活躍と、幼なじみのジーナとの恋模様を描いた作品です。他のジブリ作品とは一線を画す大人向けの色彩豊かな映画となっています。

そのエンディングを彩る『時には昔の話を』は加藤登紀子自身が作詞作曲を担当。映画公開の7年前となる1987年に『百万本のバラ』のカップリング曲としてリリースされました。1960年代の日本で起きた学生運動を経験した際の自身の想いが綴られていて、映画で描かれる激動の時代とその懐かしさを思い出すノスタルジックな雰囲気がマッチしています。過去の青春時代に思いを馳せつつ未来に目を向ける楽曲で、その歌詞のメッセージに心を打たれます。

4. (1) ハナミズキ 作詞：一青窈 作曲：マシコタツロウ
 (2) 情熱大陸 作曲：葉加瀬太郎
 ヴァイオリン 鮎川 朝子 ピアノ 西垣亜由子

- (1) 一青窈の15枚目のシングル曲として2004年にリリースされました。
 アメリカ同時多発テロ発生時に、ニューヨークに居た友人からのメールをきっかけに短期間で作詞してしまった、というエピソードがあります。日本がワシントンD.C.に桜を送ると、お返しにハナミズキが送られてきたというお話がありますが、日本人が桜を愛するようにアメリカではハナミズキが最も愛されるお花となっているようです。色々な想いの込められた素敵な曲です。
- (2) 元々は『エトピリカ』という曲を、かの番組のエンディングテーマ曲として使っていただく際に、ならばオープンの曲も！ということで、30秒間だけ創ってテレビでしか聴けない謎の曲、として数年存在しておりましたが、『イメージ』というCD収録の際に、改めてフルヴァージョンで作曲したのがこの曲の正式なデビューだそうです。
- ヴァイオリニスト葉加瀬太郎さんのまさに代表曲！でこの曲を弾いてみたくてヴァイオリンを始める人も多いそうです。一度聴いたら忘れられないメロディーです。

5. (1) 浜辺の歌 作詞：林 古溪 作曲：成田 為三
 (2) 子守歌 秋田県民謡 作曲：間宮 芳生
 (3) オペラ「修道女 アンジェリカ」より『母もなしに』 作曲：プッチーニ
 ソプラノ 梶 圭子 ピアノ伴奏 桜井 智子

- (1) 海に囲まれている日本、日本人なら誰でも知っている心の歌です。
 先日モンゴルで天皇陛下がピアノで演奏されたのも話題になっています。
- (2) 秋田地方の子守歌の一つです。メロディーがきれいな曲で少しだけ方言も入っています。
 作曲者の間宮芳生は日本各地の民謡を素材とした作品をピアノ伴奏の歌曲として集成しています。
- (3) 『母もなしに』はオペラ「修道女 アンジェリカ」のアリアです。
 高貴な貴族出身のアンジェリカは親の許さない子供を産んだため修道院に入れられています。
 ある日伯母が訪ねてきました。アンジェリカは、生まれてすぐ引き離された子供の消息を尋ねました。するとその子は2年前に5歳で亡くなっていることを知ります。
 その子を思い「坊やは母の口付けもなしで、どんなに母が愛していたのかも知らないで死んでしまったのね。私もあなたが住む天国に行こう」と歌っています。

6. (1) むこうむこう 作曲：中田喜直
 (2) 歌劇「カプレーティ家とモンテッキ家」より『ああ、幾度か』 作曲：ベッリーニ
 ソプラノ 小野寺汐莉 ピアノ伴奏 石橋 里奈

- (1) 「むこうむこう」は大好きな曲です。明るく広がりをもって演奏します。あなたにも素敵な未来がまっていますよ。
- (2) このオペラはシェイクスピアの「ロミオとジュリエット」と同じように、家同士の対立が描かれています。ヒロインのジュリエッタが一人、自室のバルコニーで愛する恋人ロメオのことを思いながら歌うアリアです。彼女の恋に悩む、繊細な心を演奏したいと思います。

休 憩

<第Ⅱ部>

9. 特別企画～エンジョイミュージカル～ 演奏 出演者全員
 (1) サウンド・オブ・ミュージック (サウンド・オブミュージック)
 尺八 芦垣 皋盟 第一箏 井上 久子
 第二箏 山村 雅子 十七絃 菊池 紀子
 (2) トゥモロー (アニー!)歌 小野寺汐莉 ピアノ伴奏 石橋 里奈
 (3) 踊りあかそう (マイ・フェア・レディ) ...歌 小野寺汐莉 ピアノ伴奏 石橋 里奈
 (4) 虹の彼方に (オズの魔法使い)歌 梶 圭子 ピアノ伴奏 桜井 智子
 (5) メモリー (キャッツ)歌 大河原敏雄 ピアノ 西垣亜由子 ヴァイオリン 鮎川 朝子
 (6) 美女と野獣 (美女と野獣) ～ホール・ニュー・ワールド (アラジン)
 ヴァイオリン 鮎川 朝子 ピアノ 西垣亜由子
 (7) ドレミの歌 (サウンド・オブ・ミュージック) ...歌 全員 ピアノ伴奏 桜井 智子

10. エンディング みんなで歌おう 指揮 小野寺汐莉 ピアノ伴奏 桜井 智子
 光のコスモス (袖ヶ浦市民歌) 作詞：篠崎淳之介 作曲：川崎祥悦 編曲：川崎絵都夫

Profile (出演順)

芦垣 皋盟(尺八):10歳より琴古流尺八を田中康盟に師事。東京芸術大学音楽学部邦楽科尺八(琴古流)専攻卒業。同大学大学院音楽研究科修了。在学中、山口五郎(人間国宝)、山本邦山(人間国宝)に師事。NHK邦楽技能者育成会45期卒業。NHK邦楽オーディション合格。日本伝統文化振興財団主催「邦楽技能者オーディション」合格。ピクチャーよりオリジナルアルバムCD「琴古流尺八 芦垣皋盟」発売中。2013年「第1回芦垣皋盟尺八リサイタル」開催。以後4回開催。その他、海外公演・CD録音多数参加。NHK-FM「邦楽のひととき」出演。(賛助出演)

井上 久子(箏):船川利夫に師事。船川邦楽研究所箏曲師範。井上喜義・久子二人のコンサート4回。2005年CD「夢」収録。2010年袖ヶ浦市民会館にて「船川利夫の世界」開催。2011年イタジャイ市公演。2012、2014年安来市「船川利夫を聴く知るコンサート」特別出演。千葉県特別非常勤講師として3万名をこえる小中学生に箏の授業。現、千葉県特別非常勤講師。がうら邦楽合奏団副団長。長浦ジュニアお琴教室ひまわり代表・根形ジュニアお琴教室もみじ代表。袖ヶ浦市在住。

山村 雅子(箏):3才の頃より母から箏を学ぶ。作曲家船川利夫の薫陶をうけ育つ。中・高・大学でトランペットを吹奏。金井敬に指揮の手ほどきを受ける。同氏主催の声楽アンサンブルメンバー。声楽を広瀬奈緒に学ぶ。2012年ヴェルディ「レクイエム」オーストリア公演に参加。「尺八と箏のための複協奏曲」ほか船川利夫作品を多数指揮。船川邦楽研究所箏曲師範。木更津市の小学校勤務。袖ヶ浦市在住。

菊池 紀子(十七絃):15歳より箏を井上久子に師事。出身の千葉県袖ヶ浦市の音楽協会のコンサート・スクールコンサートに多数出演。2013年板橋区立児童館にて箏のコンサート開催。2014年より板橋区立小学校の放課後事業にて小学生対象のお箏教室講師。2017年千葉県非常勤講師として県内小中学校の箏授業を行う。2020年「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」に参加。2025年3月個人リサイタル開催。船川邦楽研究所箏曲師範。がうら邦楽合奏団会員。袖ヶ浦市音楽協会会員。

白熊 優奈(ソプラノ):市原中央高等学校普通科芸術コース、洗足学園音楽大学音楽学部ピアノコースを卒業。これまでに声楽を増田のり子、星野行江の各氏に師事。現在、木更津市内中学校勤務。かずさ声楽研究会会員。木更津市在住。(賛助出演)

小野寺汐莉(ソプラノ):聖徳大学音楽学部音楽総合学科音楽教員養成コース卒業。同学部卒業演奏会出演。声楽を木村満壽美、星野行江の各氏に師事。袖ヶ浦市音楽協会主催のガウラコンサート出演や、千葉ロッテマリーンズ主催All for CHIBA in袖ヶ浦にて国歌の披露、袖ヶ浦市ジュニアオーケストラや個人への歌唱指導、ソロやアンサンブルでの依頼演奏などの活動をしている。現在、君津市立中学校勤務。かずさ声楽研究会会員。袖ヶ浦市音楽協会副会長。袖ヶ浦市ジュニアオーケストラ臨時講師。木更津市在住。

石橋 里奈(ピアノ):東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学大学院ピアノ科修了。ピアノを安藤久仁子、堤さお梨、迫昭嘉、弘中孝の各氏に師事。幼少期よりピティナピアノコンペティションや、ちば音楽コンクール等で受賞多数。自主企画コンサートや、施設・病院でのボランティアコンサートを精力的に行っている。Piacereピアノ教室主宰。かずさFM「ランチタイムガーデン」(木曜日)でパーソナリティを務め、番組内のコーナー『里奈のエンジョイクラシック』ではクラシック音楽を紹介している。木更津市在住。

大河原敏雄(テナー):早稲田大学在学中、ボニー・ジャックスを輩出した男声合唱団グリークラブに所属。1979年スイスで開かれた「ヨーロッパ音楽祭」に参加。1986年女声合唱団「アルテリーベ」を結成し、20数年間その指導にあたった。「かずさ音楽祭」の第九の合唱指導や、近隣の小・中学校の合唱指導にも携わる。金田中学校を退職後は、岩根、周西公民館長として勤務する傍ら、近隣ホテル内チャペルでの演奏活動、いわねうたごえ喫茶等を行った。また、かずさFM等にて、子守唄、わらべうたの普及活動にもあたっている。子守唄・わらべうた学会会員。

西垣亜由子(ピアノ):千葉県立木更津高等学校を経て、東京音楽大学ピアノ科卒業。洗足学園音楽大学大学院音楽研究科修士課程修了。これまでにピアノを左草真理子、麻生真理子、石井千穂、西川美知子、伊奈照世、杉本安子、小林仁の各氏に、室内楽を飯吉高氏に師事。在学中、秋山和慶指揮によるピアノ協奏曲のソリストとして大学院室内管弦楽団と共演。卒業後、(株)コンドー楽器PSTA講師、洗足学園大学演奏補助要員・ミュージカルコースピアニスト、丸ビル35コンサート平日ピアニストを勤めながら、地元でのコンサートに多数出演。現在、「西垣亜由子ピアノ音楽教室」を主宰し、後進の指導に力を注いでいる。また、Duo Cuoluceで地元を中心にアウトリーチコンサート、女声コーラス紙ひこうきピアニスト、コンクール・リサイタルの伴奏、室内楽など幅広く演奏活動を行っている。(賛助出演)

鮎川 朝子(ヴァイオリン):12歳でヴァイオリンに出逢う。聖徳大学附属高等学校音楽科ヴァイオリン専攻を経て同大学ヴァイオリン専攻を卒業。黒沼しのぶ、坂本真理の各氏に師事。イタリア・サルディニア国際音楽アカデミーにて短期留学、J・プーレ氏に師事。現在は、アンサンブルメンバー他、アウトリーチコンサート、オーケストラのエキストラ、福祉施設などでの定期的に行っているコンサート等、様々な会場で演奏活動を行なっている。後進の指導にも力を注ぎ、コンクール審査員、かずさジュニアオーケストラ(KJO)弦楽器チーフトレーナー、袖ヶ浦ジュニアオーケストラ(SJO)特別講師。鮎川朝子ヴァイオリン教室主宰。君津市在住。<http://asakoayukawa.com> (賛助出演)

梶 圭子(ソプラノ):一時期女声合唱団「カリヨン」に所属、鈴木賀子先生の指導を受ける。15年前より声楽を学び始める。千葉のカルチャーでよい指導者に恵まれ現在に至る。声楽をオペラ歌手藤原歌劇団団員バスバリトン三浦克次・松本衣子・駕海由子に師事。主に千葉と東京で活動。木更津市在住。

桜井 智子(ピアノ):神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。NHKラジオ「巣立つ新人」に出演。同年、本学新人演奏会出演。現在オペラ歌手、声楽家の伴奏、声楽レッスンやコンクール・コンサートの伴奏を主に務めるかたわら、弦楽器、管楽器の伴奏も行っている。習志野市在住で習志野少年少女合唱団の指導も25年余りになる。ピアノを故壺野保太郎、井上初子、元濱綏子、故山田康子、山田富士子、服部真由子の各氏に師事。声楽を高橋典子、三浦克次の各氏に師事。(賛助出演)

♪みんなて歌おう♪

ドレミの歌

ドはドーナツのド
しはしモンのし
ミはみんなのミ
ファはファイトのファ
ソは青いそら
ラはラッパのラ
シは幸せよ
さあ 歌いましょう

ドレミファソラシド ドシラソファミシ
ドミミ ミソソ レファファ ラシシ

どんな時にも 列を組んで
みんな楽しく ファイトをもって
空をあおいで ラララララ
幸せの歌 さあ 歌いましょう
ドレミファソラシ ドソド

作詞：オスカー・ハマースタイン2世
作曲：リチャード・ロジャース
訳詞：ペギー葉山

光のコスモス

花のころ うたう ふるさと
歴史薫る 浦の朝風
海 超えて 海 超えて
あふれくる 息吹き
胸に打ち返す 潮の高鳴り
限らない 刻（とき）を連ねて
いのち 輝く コスモス 袖ヶ浦

峰を伝い うたう そよ風
光そぞく 丘に呼ぶ声
空 駆けて 空 駆けて
こだまする ひびき
望みひとすじに 人の語らい
限らない 刻を拓いて
緑 輝く コスモス 袖ヶ浦
麗しく 人 つどう わが街
歓び ひろがる 光のふるさと

作詞：篠崎淳之介
作曲：川崎祥悦
編曲：川崎絵都夫